

福岡県薬剤師会が取り組む 災害対策活動

(公社) 福岡県薬剤師会 常務理事 山口信也

福岡県薬剤師会の 災害・感染対策委員会

災害発生時の救援活動等への対応整備事業

- 1) 県民および薬剤師に対する震災等への<mark>防災意識高揚へ向けた取り組み実施、および</mark>防災マニュアル等の作成
- 2) 最新の情報に基づいた業務継続に向けての具体的対策
- 3) 災害時における医薬品等供給調整業務を行う<mark>災害支援薬剤師の養成</mark>、環境衛生に 関わる検査および指導助言
- 4) 災害支援薬剤師 (リーダー)、災害支援薬剤師による災害対応訓練、研修会の実施
- 5) 災害用備蓄品・資材の整備
- 6) モバイルファーマシーの維持・管理、防災訓練および研修会の実施
- 7) 薬剤師によるワクチン接種に対応するための研修会の実施

2022年度福岡県薬剤師会事業計画より



福岡県との協定

「福岡県地域防災計画」「福岡県災害時医療救護マニュアル」 の活動内容をより明確にするため「災害時の医療救護活動に関する協定書 | を締結

令和2年度 (*災害支援薬剤師(リーダー)=災害薬事コーディネーター)

災害支援薬剤師(リーダー)の配置、モバイルファーマシー(災害対応医薬品供給車両)の導入を行い、災害時の医薬品供給体制の強化を図った。

令和3年度

福岡県と福岡県薬剤師会は「**災害時の医療救護活動に関する協定書」**を取り 交わしていたが、<mark>災害支援薬剤師(リーダー)について記載し、改定した</mark>

災害支援薬剤師(リーダー)の活動手順書を作成し、

災害支援薬剤師(リーダー)資質向上研修会を実施した。

令和5年度

厚生労働省からの通知に基づき、災害支援薬剤師(リーダー)を災害薬事 コーディネーターと記載変更(案)



災害支援薬剤師(リーダー)活動手順書

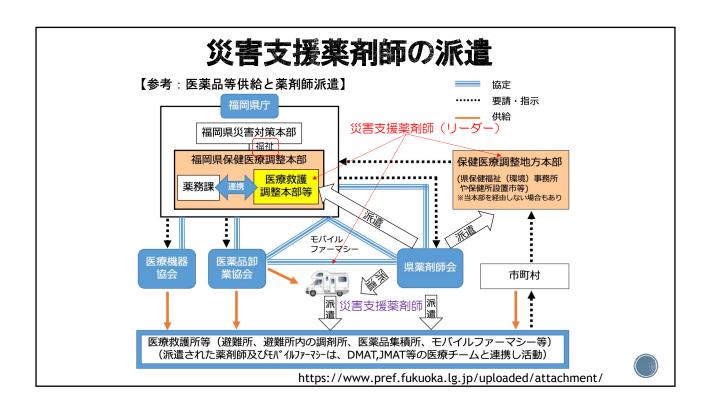
(*災害薬事コーディネーター)

行政と薬剤師の災害薬事に関する関係者で協議を行い、災害対策における 災害支援薬剤師(リーダー)の位置づけ、果たすべき役割、活動手順等に ついて協議を行った。令和3年10月、福岡県薬剤師会と福岡県保健医療 介護部薬務課の連名で災害支援薬剤師(リーダー)の活動手順書を策定し た。

災害支援薬剤師(リーダー)の果たすべき役割

- 1 県と県薬剤師会の連携強化による効果的な医療救護活動の実施
- 2 的確な情報の集約・整理・報告
- 3 効率的な医療救護活動の実現





災害支援薬剤師(リーダー)業務例

医療救護所等からの医薬品等の供給要請に対応する。そのために発注、納品の手続き を確立する。供給困難な場合は代養療を提案するほか、割当数を決定する

医療救護所等から要請があった医薬品等について、重複や容構過多が生じていないか 確認する

薬局による体制確立が困難な場合は、避難所内に調剤所又はモバイル ファーマシーを 設置し、処方薬病素体制を確立する

医療救護所等でorcを取り扱う場合、適切な薬を選択できるよう管理体制を構築する

整築所の環境衛生や消毒薬・衛生資機材などの管理やモニタリングの 体制を構築する

<u> 医療救護所等から**敵収する際の引継さ**を適切に行うよう管理する</u>



災害支援薬剤師(リーダー)養成研修会

災害支援薬剤師(リーダー)は、災害発生後に県庁に設置される保健医療調整本部、又は保健所に設置される保健医療調整地方本部において、医療物資や災害支援薬剤師等の需給状況を適切に集約・整理・報告する役割を担う。令和3年の初回は2日間行った。令和4年、令和5年は内容をアップデートした1日講習とし、演習では、DMATの先生にファシリテートしてもらいながら、福岡大学薬学部 江川 孝教授が講義・解説を行い、実践的なグループワークを実施した。

令和3年1月、令和4年2月、令和5年2月(每年1回実施)

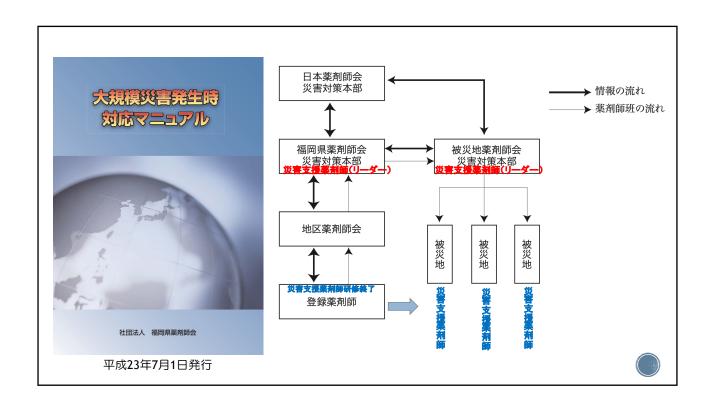
福岡県保健医療介護部薬務課主導で福岡県薬剤師会と共催

講義、グループワークを組み合わせた形式の研修会

災害支援薬剤師(リーダー)研修での獲得目標

- □災害時の医療対応の原則を理解する。
- □ 災害医療の初動と共通言語を習得する。
- □ 過去の事例に基づき災害薬事対策本部の活動をシミュレートできる。
- □ 災害時の薬事マネージメント・薬事サポートを理解する。
- □ 災害薬事対策本部活動で状況把握と資源の再配分ができる。





薬剤師として災害支援へ

福岡県薬剤師会と福岡県は災害時協定を結んでおり、災害時の医療救護活動を迅速かつ的確に行う体制を構築しています。

福岡県から福岡県薬剤師会に要請があれば、地区薬剤師会への薬剤師派遣の依頼があり、要請に基づき地区薬剤師会から参集します

災害医療救護活動 (医療救護所での活動)

被災者への支援 (避難所での活動)

医薬品安定供給への貢献 (医薬品集積所での活動)



災害支援薬剤師研修会での獲得目標

- □災害時の医療対応の原則
- □ 災害医療の初動と共通言語
- □ 過去の災害での薬事サポート事例

CSCATT

モバイルファーマシー(MP)の導入



令和3年1月14日、福岡県、福岡県薬剤師会、福岡県医薬品卸業協会の三者で協定を締結。行政、薬剤師会、医薬品卸団体の三者連携によるモバイルファーマシーの運用は、全国初。



県の補助を受け導入。車両は災害時に医薬品を速やかに搭載できるよう福岡県医薬品卸業協会会員営業所に保管。



県からの要請により、医薬品卸業協会はMPに医薬品を搭載、 薬剤師会は初動チームをMPに派遣、乗務して被災地に出動 し、疾病治療中の避難者等に対する調剤や服薬指導等を行う。

令和4年度福岡県総合防災訓練

日時:令和4年5月29日(日)10:00~12:00 場所:あおば会館、福岡県庁災害対策本部室



福岡県薬剤師会 災害・感染対策委員会メンバー

•全体管理:宮谷·山口

・県保健医療調整本部:江川・永嶋・医師看護師チーム:馬場・立山

モバイルファーマシー: 仙敷・石橋・田中

•環境衛生検査:永原•硲



防災訓練打ち合わせ

(第1回会議) 令和4年3月7日

訓練実施要領・概要(案)スケジュール案



(第2回会議) 令和4年3月28日

訓練実施計画書案 部門別打ち合わせ



(第3回会議) 令和4年4月25日

訓練実施計画書案確定 詳細な計画



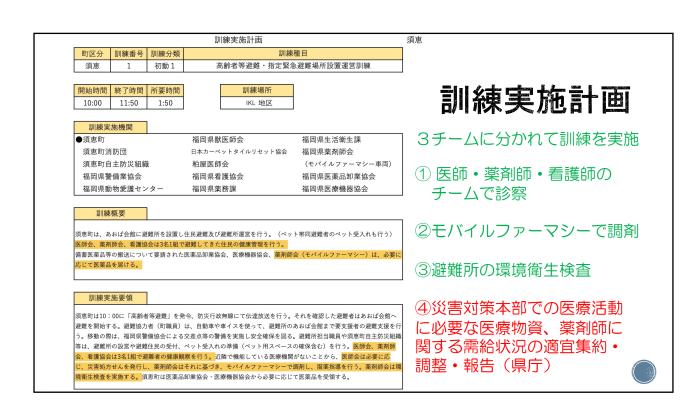
(訓練当日) 令和4年5月28日

この時点では薬剤師 という言葉がなかった

モバイルファーマ シーの訓練内容につ いて申し入れ

医師・看護師で避難 者の診察→薬剤師を 含め3者に変更





安心な避難所にするために 薬剤師だからできること

避難生活の環境整備(食事、就寝、トイレ)

地域の専門人材をつなぐ(多職種連携)

環境衛生検査(エビデンスによる環境改善)

薬だけでなく、予防保健・医療への貢献

不安解消のため優しく声をかける。

学校薬剤師が地域の防災訓練に参加し、準備することが重要



災害支援薬剤師(リーダー)の活動内容

時間	発	受	内容
10時46分	永嶋	県薬	薬局被災状況の確認
10時49分	県薬	本部	須恵町の薬局の大半が営業不能、 再開のめど立たず
10時52分	県薬	本部	須恵町の避難所薬品不足、特に慢性疾患
10時56分	本部	県薬	薬剤の不足、 県薬剤師会へモバイルファーマシー派遣依頼
11時2分	県薬	本部	モバイルファーマシースタンバイ要請完了
11時33分	県薬	本部	モバイルファーマシースタンバイ完了、 出動可



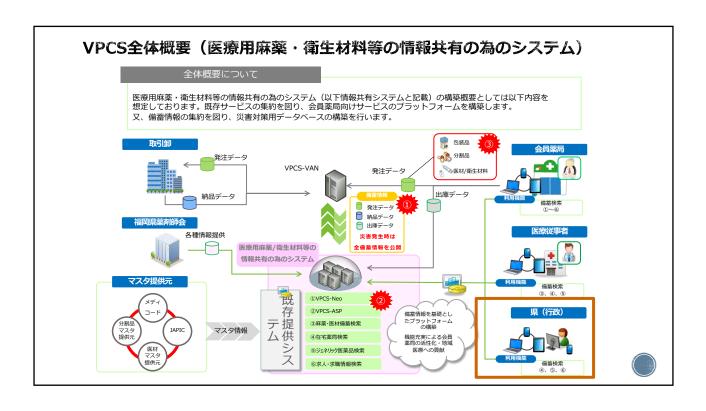
VPCS

Virtual Pharmacy Computer System

~日常業務への活用と 社会インフラの構築~

備蓄検索、地域連携機能等

薬局の業務支援アプリケーションです。





今後の計画と課題

平時の防災訓練、実践的な研修を定期的に開催することが重要

他県との災害協定と合同訓練が必要

災害時の地域薬局の役割を明確にし、地域の防災訓練に参加

防災訓練に参加することで他職種と顔の見える関係を築く